

岬町
在宅介護実態調査 結果報告書

令和5年10月

岬町

目次

第1編 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査対象及び調査方法.....	1
3 留意事項.....	1
第2編 調査結果.....	2
回答者の属性.....	2
A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします.....	3
B票 主な介護者の方について、お伺いします.....	12
自由記述.....	26

第1編 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、「第9期介護保険事業計画」を策定するに当たり、町民の皆さまのご意見を幅広くお聞きし、計画策定の基礎資料として活用するために実施します。

2 調査対象及び調査方法

アンケート調査票は、以下を対象に郵送にて実施しました。

調査時期	令和5年7月～8月
対象者	要介護1～5の高齢者
手法	郵送調査
発送数	400票
回収数	188票
回収率	47.0%

3 留意事項

- ①設問のなかには前問に答えた人のみが回答する「限定設問」があり、その設問においては表中の回答者数が全体より少なくなっています。
- ②設問には1つのみ答える単数回答（SA：シングルアンサー）と、複数回答（MA：マルチアンサー）があります。MAの集計においては、回答者がその選択肢を選択した割合を算出しています。
- ③割合は選択肢ごとに小数第二位で四捨五入しているため、表によってはその割合の合計が100%にならないものがあります。

第2編 調査結果

回答者の属性

本アンケートに回答いただいた方の属性は、次の通りです。

年 齢

年齢	人数(人)	割合(%)
65-74 歳	29	15.4
75-84 歳	67	35.6
85 歳以上	92	48.9
合計	188	100.0

性 別

性別	人数(人)	割合(%)
男性	75	39.9
女性	113	60.1
合計	188	100.0

地 区

地区	人数(人)	割合(%)
淡輪	89	47.3
深日	59	31.4
多奈川	35	18.6
孝子	5	2.7
合計	188	100.0

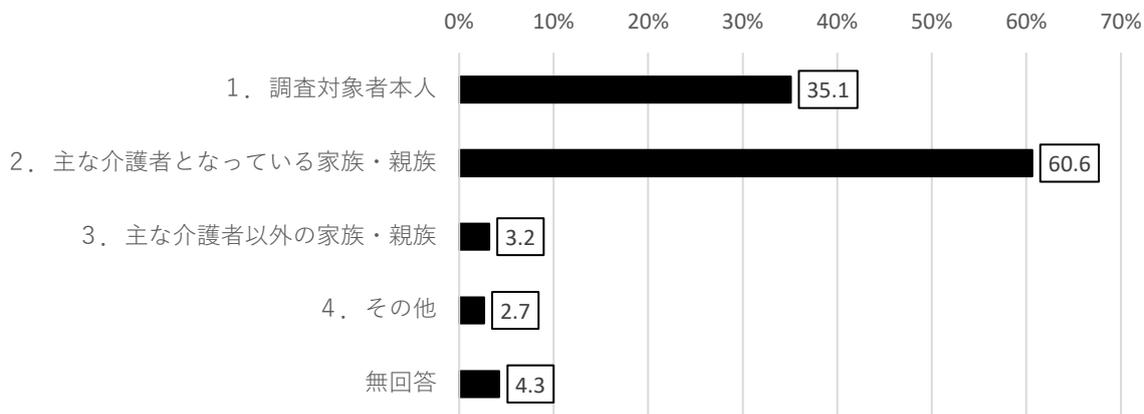
要介護度

性別	人数(人)	割合(%)
要介護1	68	36.2
要介護2	65	34.6
要介護3	32	17.0
要介護4	16	8.5
要介護5	7	3.7
合計	188	100.0

A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

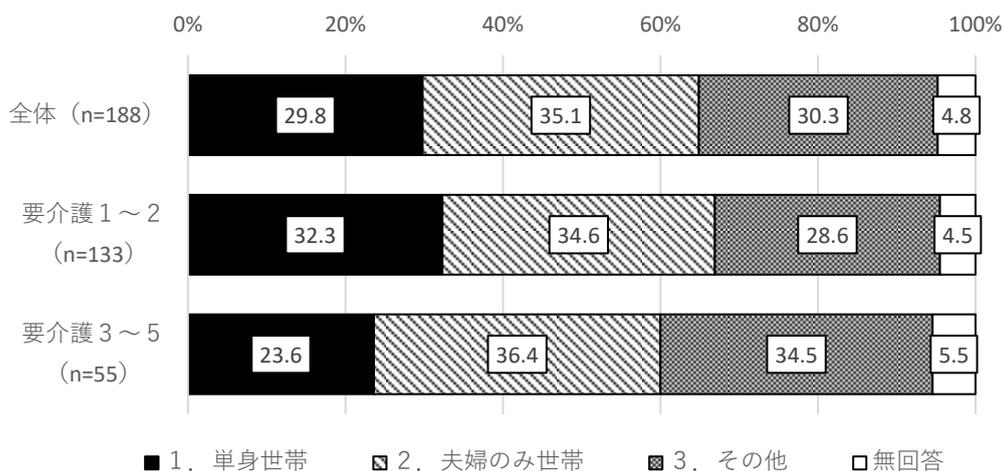
問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか (MA) n=188

最も割合が高いのは「主な介護者となっている家族・親族」(60.6%)、次いで「調査対象者本人」(35.1%)、「主な介護者以外の家族・親族」(3.2%)と続きます。



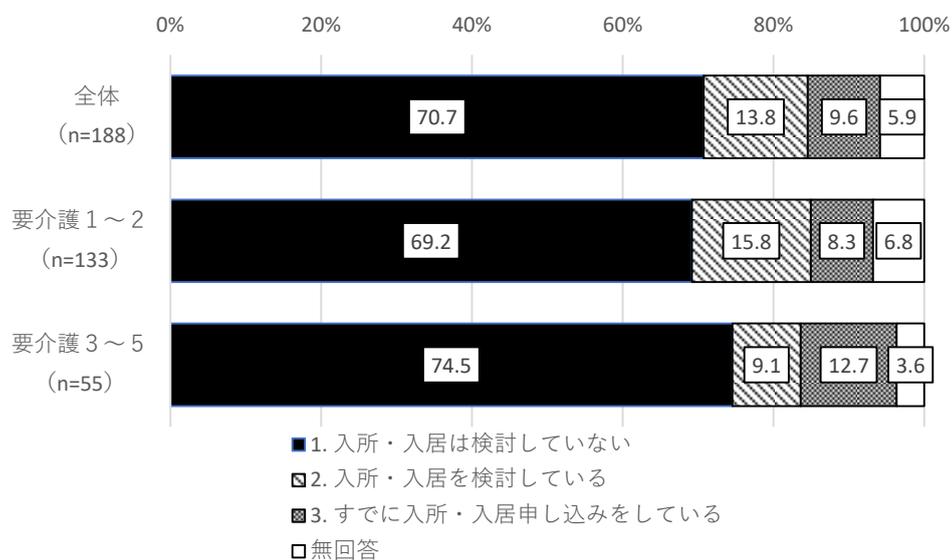
問2 世帯類型について、ご回答ください (SA) n=188

最も割合が高いのは「夫婦のみ世帯」(35.1%)、次いで「その他」(30.3%)、「単身世帯」(29.8%)と続きます。



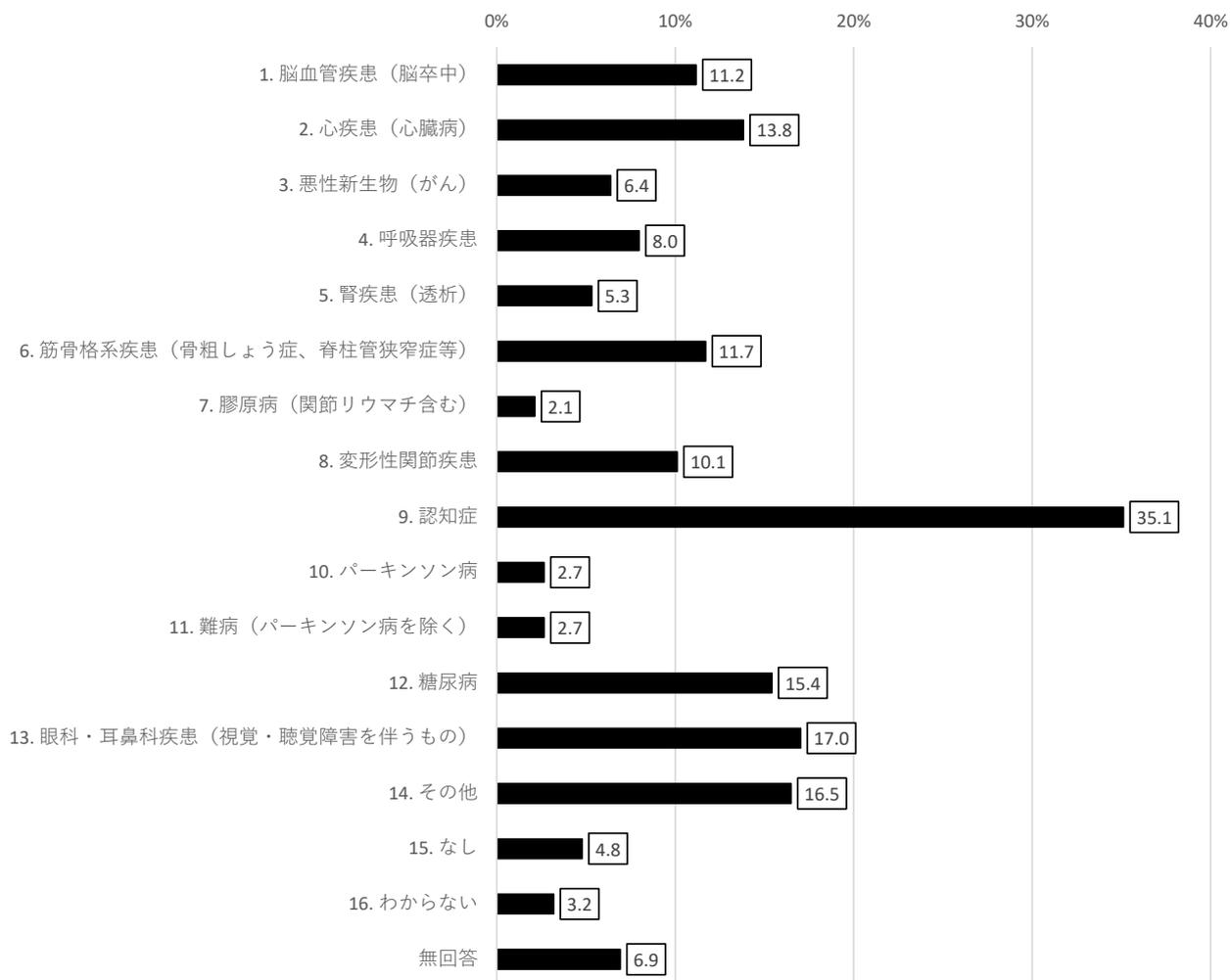
問3 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください
(S A) n=188

最も割合が高いのは「入所・入居は検討していない」(70.7%)、次いで「入所・入居を検討している」(13.8%)、「すでに入所・入居申し込みをしている」(9.6%)と続きます。



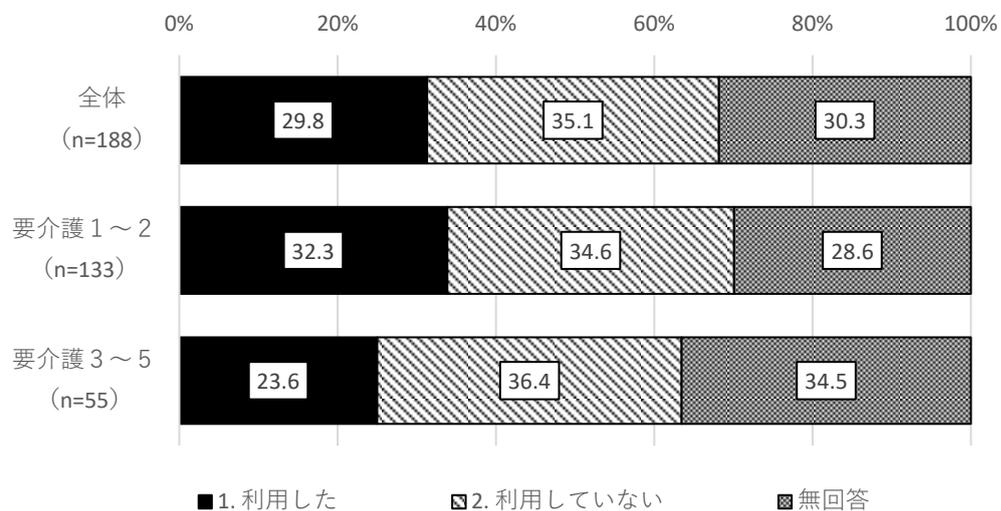
問4 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（MA）
n=188

最も割合が高いのは「認知症」（35.1%）、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（17.0%）、「その他」（16.5%）と続きます。



問5 最近1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか（SA）n=188

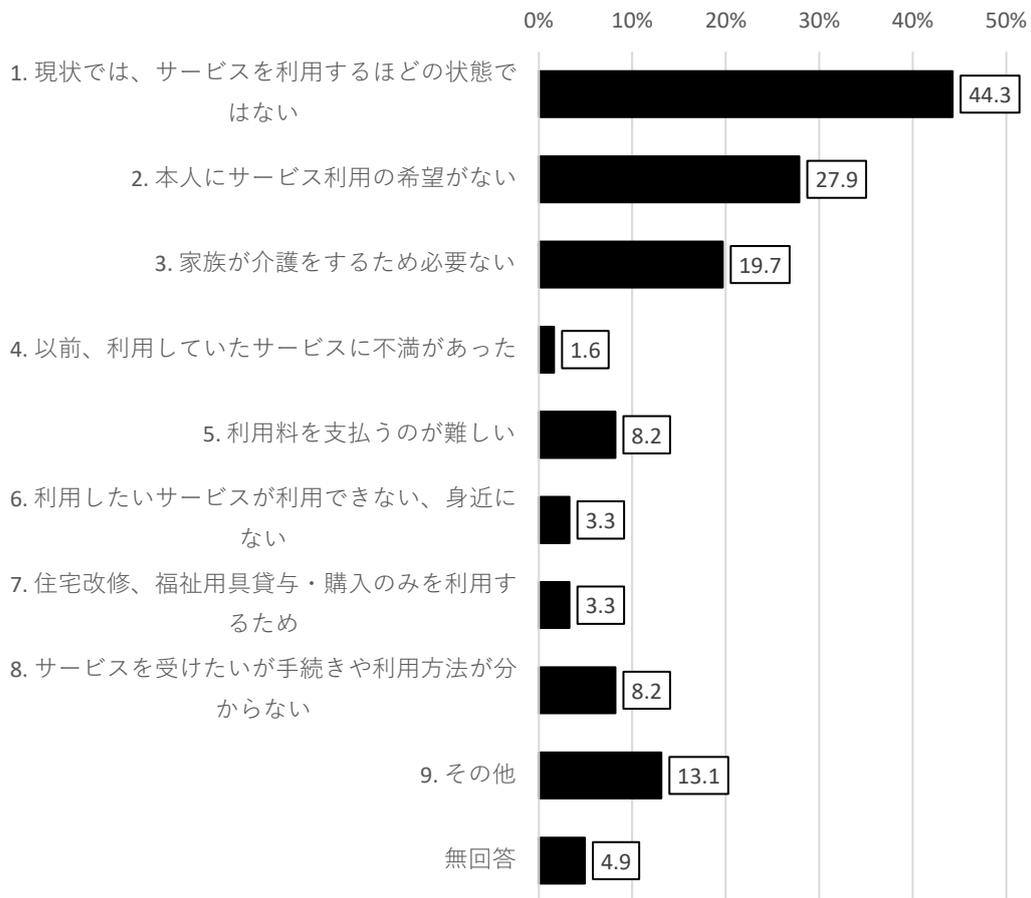
「利用した」は29.8%となっています。



問6 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）（MA）n=61

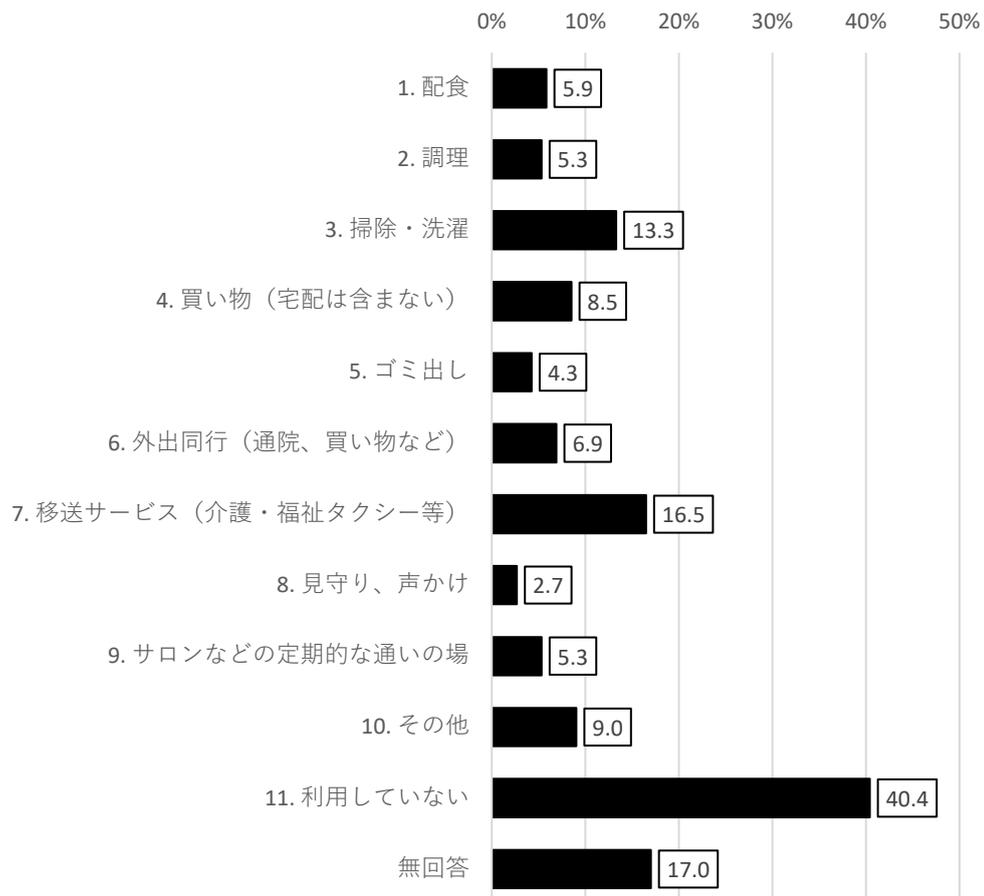
※問5で「2. 利用していない」と回答した方

最も割合が高いのは「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」（44.3%）、次いで「本人にサービス利用の希望がない」（27.9%）、「家族が介護をするため必要ない」（19.7%）と続きます。



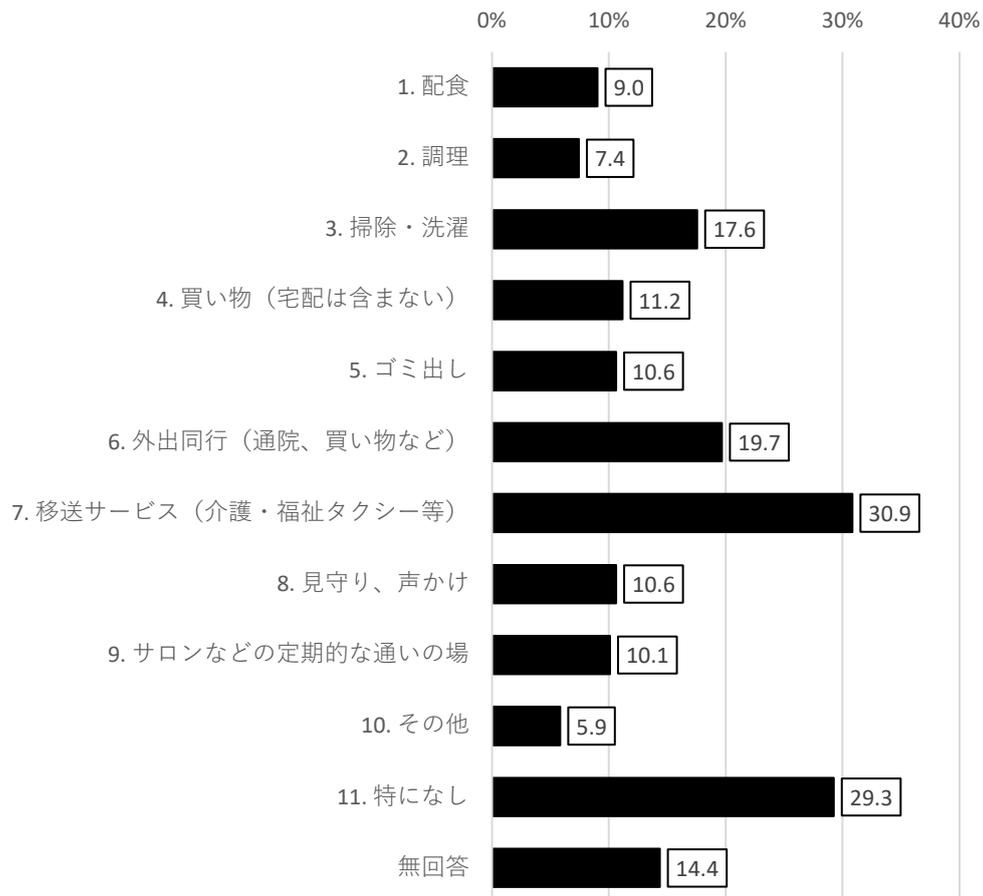
問7 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください (MA) n=188

「利用していない」を除いて、最も割合が高いのは「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（16.5%）、次いで「掃除・洗濯」（13.3%）、「買い物（宅配は含まない）」（8.5%）と続きます。



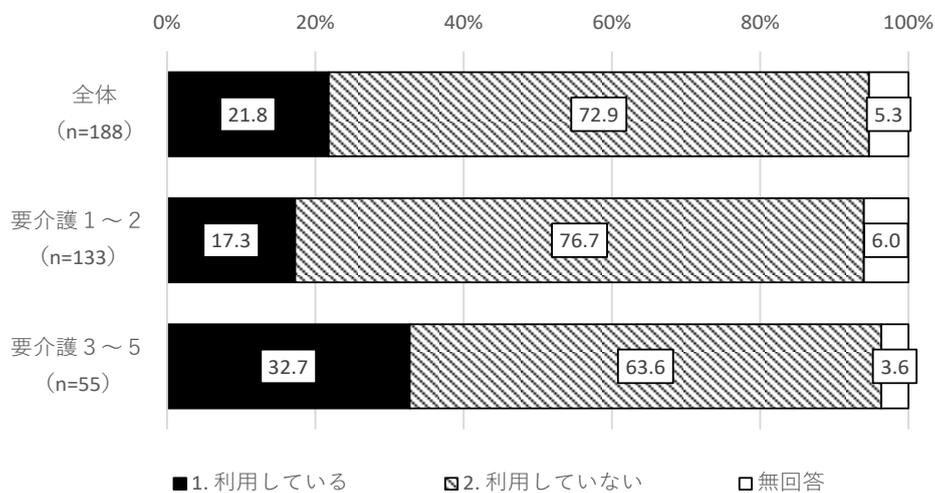
問8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（MA）n=188

「特になし」を除いて、最も割合が高いのは「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（30.9%）、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（19.7%）、「掃除・洗濯」（17.6%）と続きます。



問9 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（S A） n=188

「利用している」は21.8%となっています。

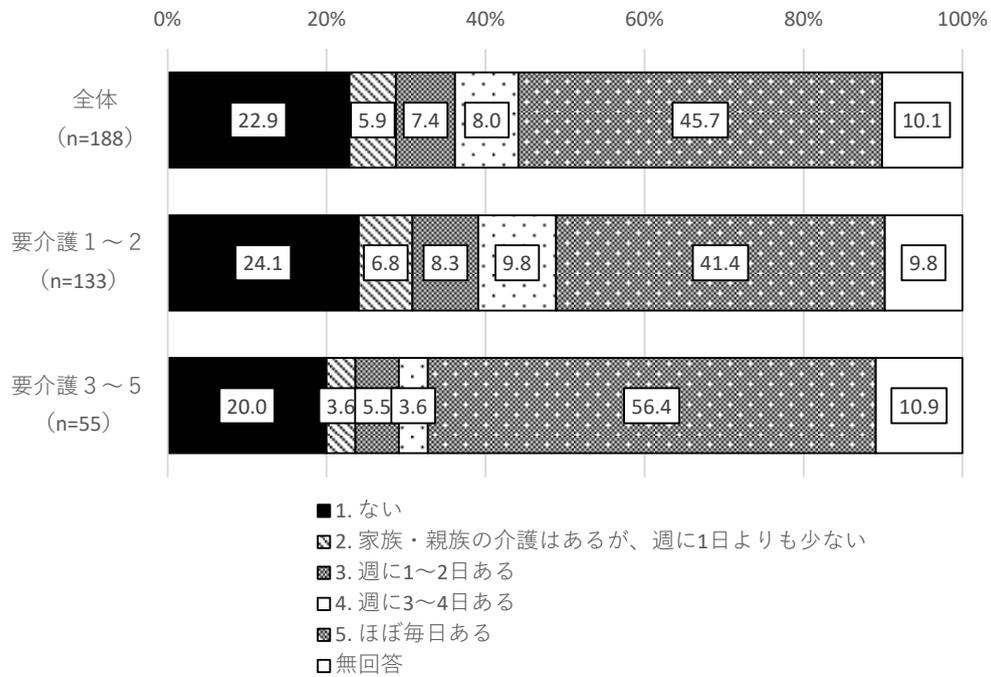


問10 ご本人（認定調査対象者）が、生活、仕事、日中活動等で困ったことや気づいたことなどがありましたら、ご記入ください（自由記述要約）

生活、仕事、日中活動等で困ったことや気づいたことなどについて、身体の不自由さ（足腰の弱さや転倒による怪我、呼吸困難など）、日常生活の困難（入浴、食事準備、掃除などが自分ではできなくなっており支援が必要）、自立した生活への不安（将来施設に入所する可能性や家での単独生活への不安）、記憶力や認知機能の低下、経済的な負担や生活費の問題など多様な回答が挙げられています。また、ゴミ出しや草取りなどの外出時の困難、買い物や通院の移動に対する支援の必要性も挙げられており、これらの課題に対しての適切なサポートや解決策、更なる生活の質の向上が望まれています。

問11 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（SA）n=188

「ある」（週に1日より少ない+週に1～2日+週に3～4日+ほぼ毎日）は67.0%となっています。

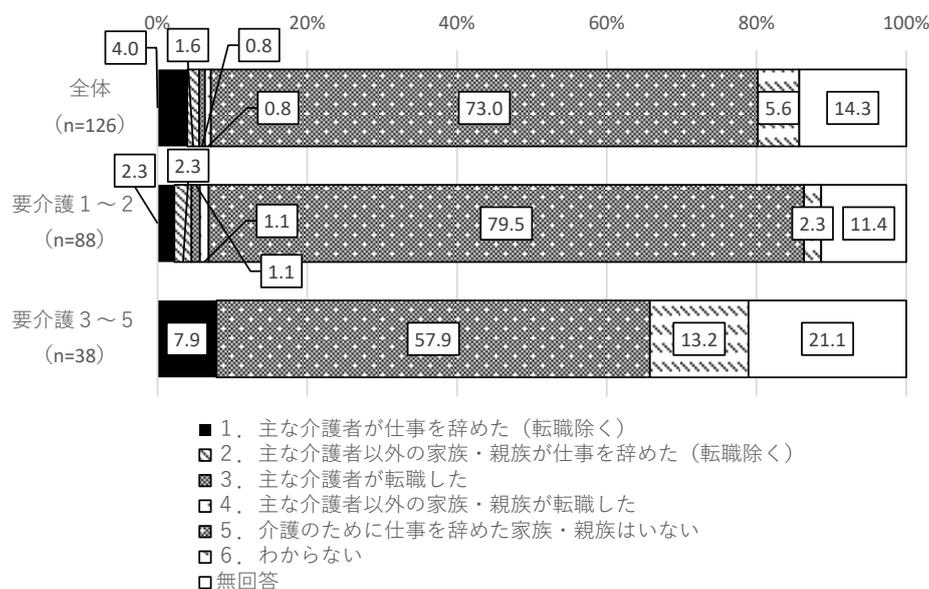


B票 主な介護者の方について、お伺いします

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（SA）n=126

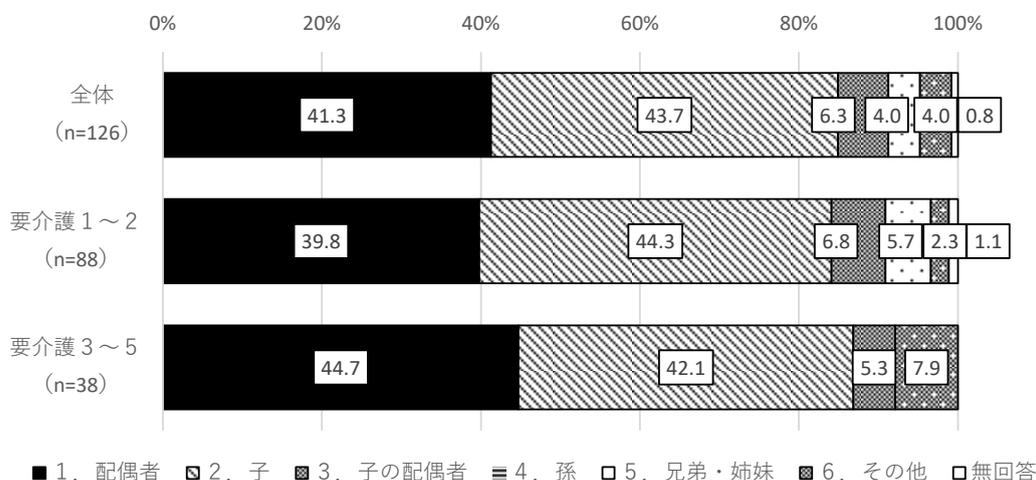
※以下、A票の問11で「2. 週に1日より少ない」～「5. ほぼ毎日」と回答した方

「わからない」を除くと、最も割合が高いのは「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」（73.0%）、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（4.0%）と続きます。要介護度別にみると、要介護3～5のほうが要介護1～2よりも「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が高くなっていきます



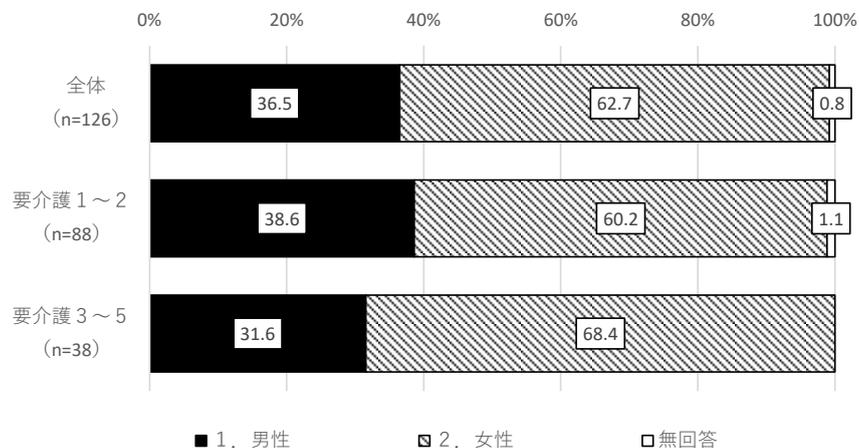
問2 主な介護者の方は、どなたですか（SA）n=126

最も割合が高いのは「子」（43.7%）、次いで「配偶者」（41.3%）、「子の配偶者」（6.3%）と続きます。



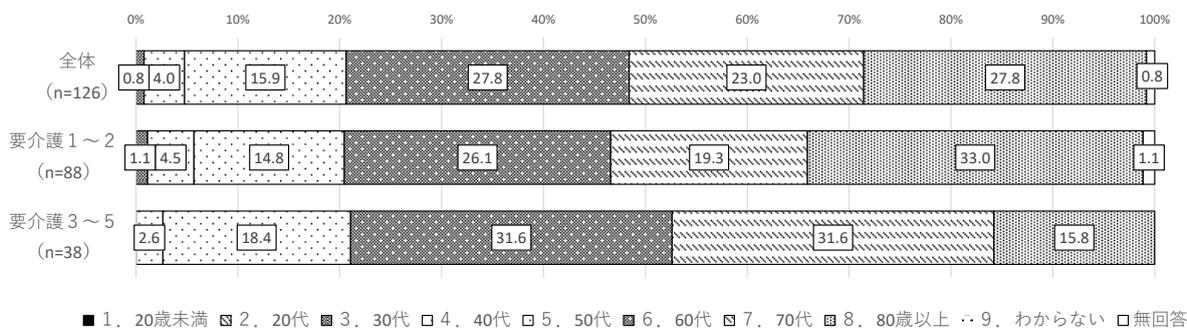
問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（S A）n=126

「女性」（62.7%）、「男性」（36.5%）となっています。



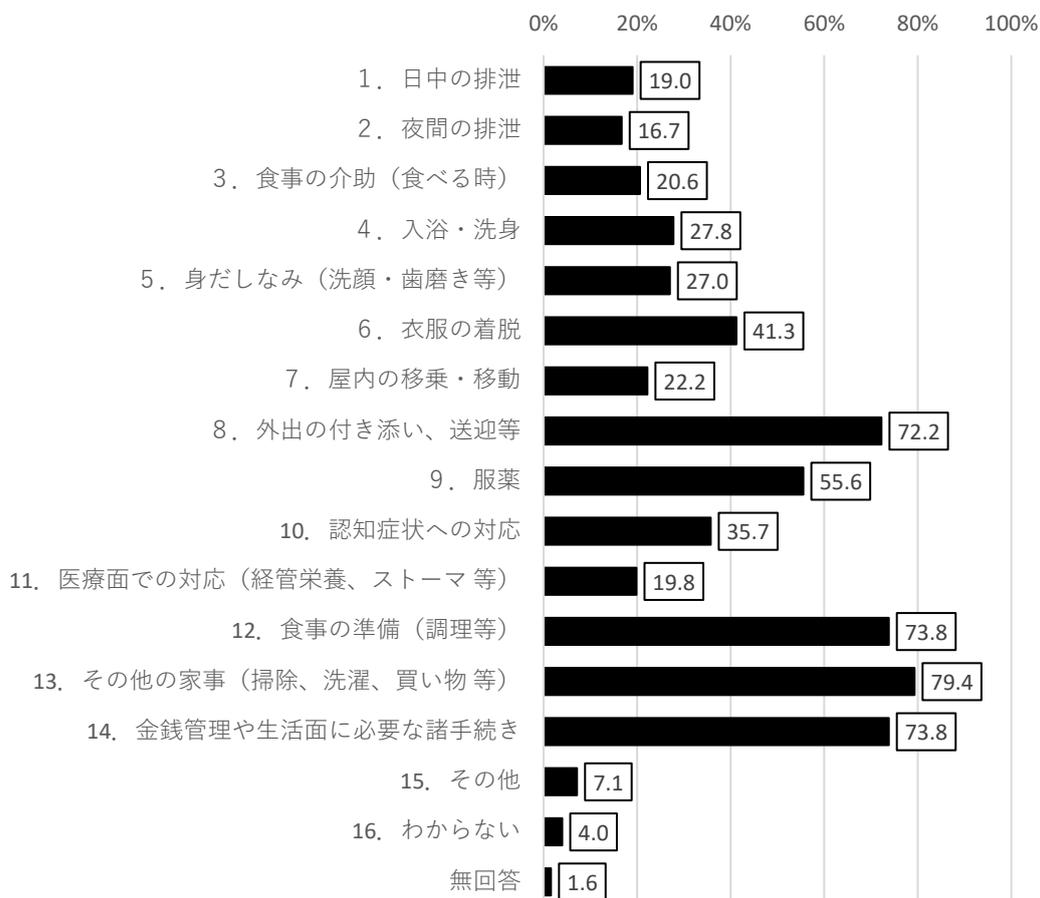
問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（S A）n=126

最も割合が高いのは「60代」「80歳以上」（共に27.8%）、次いで「70代」（23.0%）、「50代」（15.9%）と続きます。



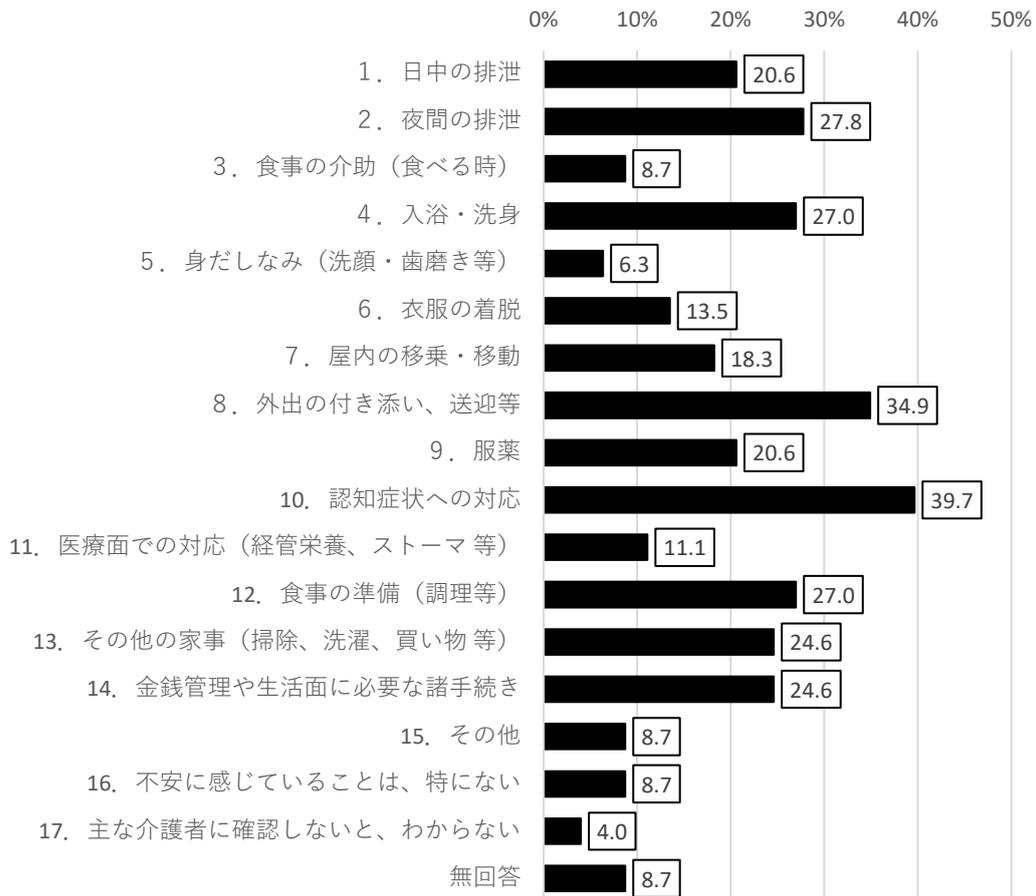
問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（S A）n=126

最も割合が高いのは「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（79.4%）、次いで「食事の準備（調理等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（共に73.8%）、「外出の付き添い、送迎等」（72.2%）と続きます。



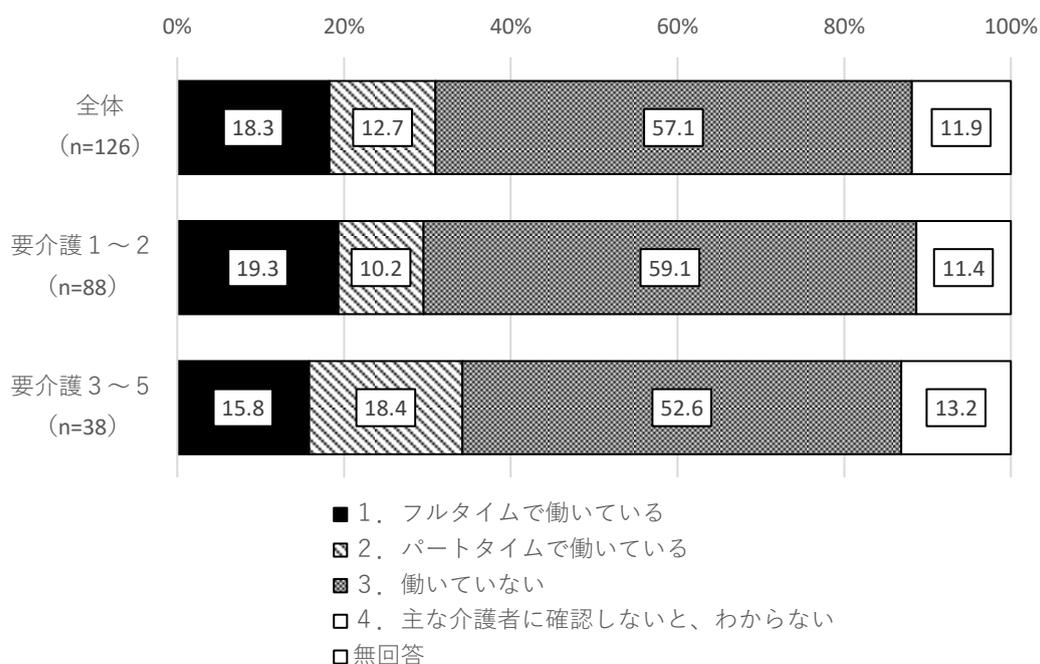
問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（SA）n=126

最も割合が高いのは「認知症状への対応」（39.7%）、次いで「外出の付き添い、送迎等」（34.9%）、「夜間の排泄」（27.8%）と続きます。



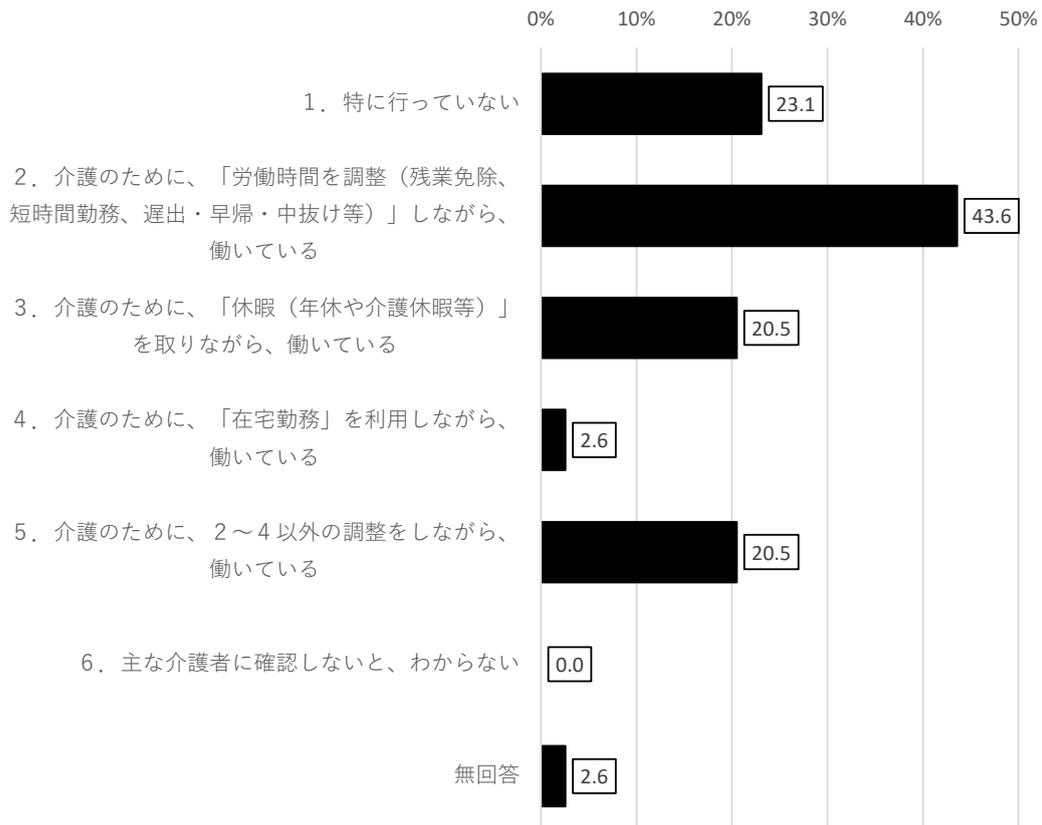
問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（S A）n=126

最も割合が高いのは「働いていない」（57.1%）、次いで「フルタイムで働いている」（18.3%）、
「パートタイムで働いている」（12.7%）と続きます。要介護度別にみると、要介護3～5のほうが要
介護1～2よりも「パートタイムで働いている」割合が高くなっています。



問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしてい
ますか（MA）n=39 ※問7で「働いている」と回答した方

最も割合が高いのは「介護のために、労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている」（43.6%）、次いで「特に行っていない」（23.1%）、「介護のため
に、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」「介護のために、2～4以外の調整
をしながら、働いている」（共に20.5%）と続きます。



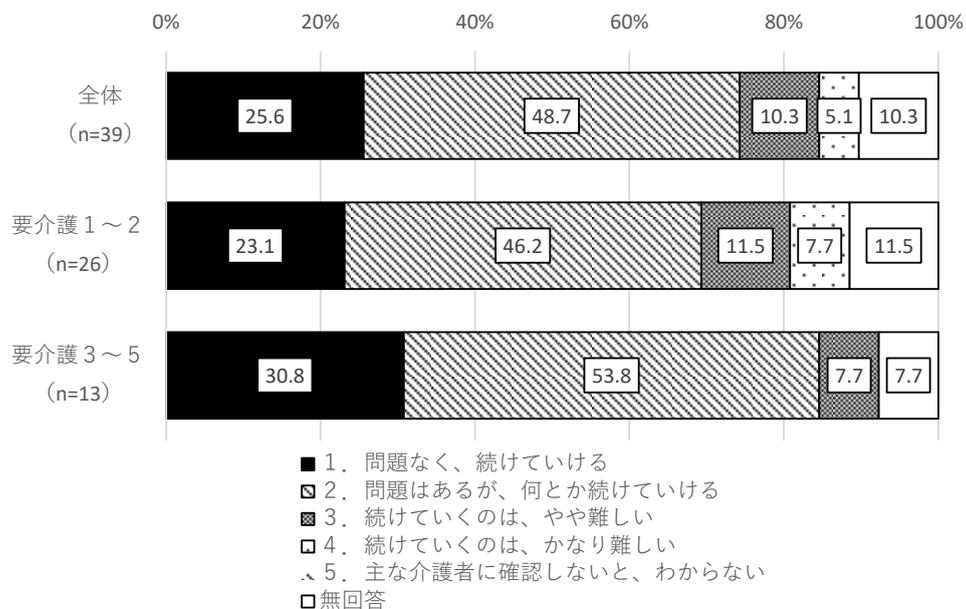
問9 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（MA）n=39 ※問7で「働いている」と回答した方

最も割合が高いのは「介護休業・介護休暇等の制度の充実」（41.0%）、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」（33.3%）、そして「介護をしている従業員への経済的な支援」（30.8%）と続きます。



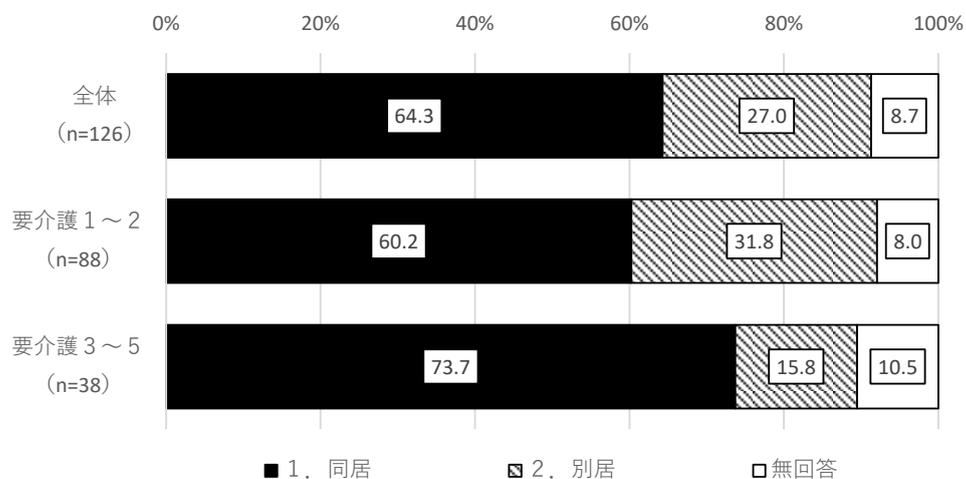
問10 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（S A）n=39
 ※問7で「働いている」と回答した方

「続けていける」（問題あり+問題なし）は74.3%、「続けていくのは難しい」（やや難しい+かなり難しい）は15.4%となっています。要介護度別にみると、要介護1～2のほうが要介護3～5よりも、就労と介護の両立に限界を感じている割合が高くなっています。



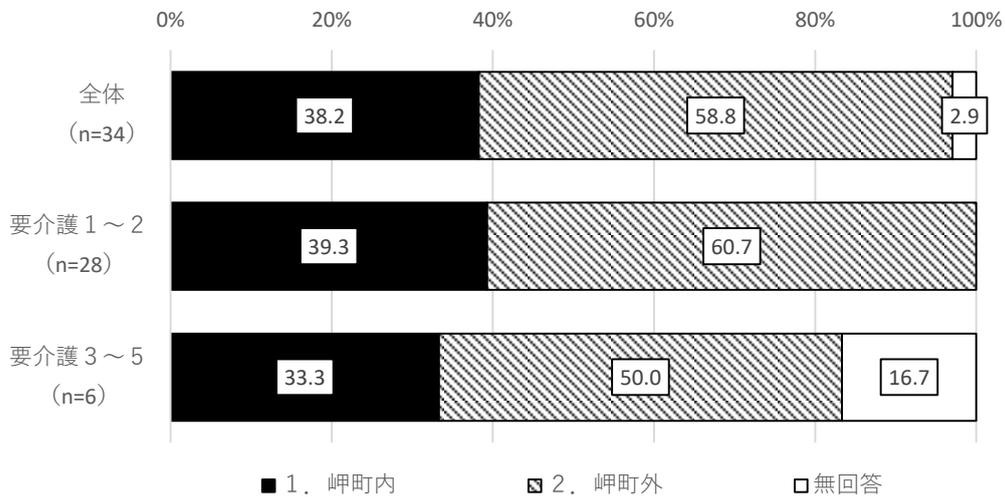
問11 主な介護者の方についてお伺いします。主な介護者の方は、あて名のご本人と同居していますか（S A）n=126

「同居」（64.3%）、「別居」（27.0%）となっています。



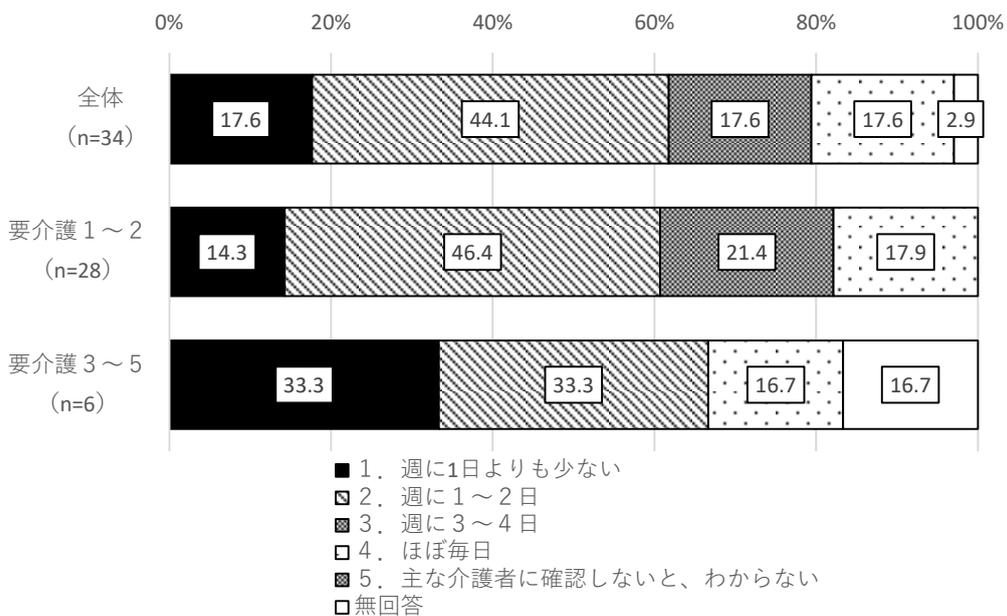
問11-1 あて名のご本人と別居されている主な介護者の方にお伺いします。主な介護者の方のお住まいはどちらですか（SA）n=34 ※問11で「2. 別居」と回答した方

「岬町内」（38.2%）、「岬町外」（58.8%）となっています。



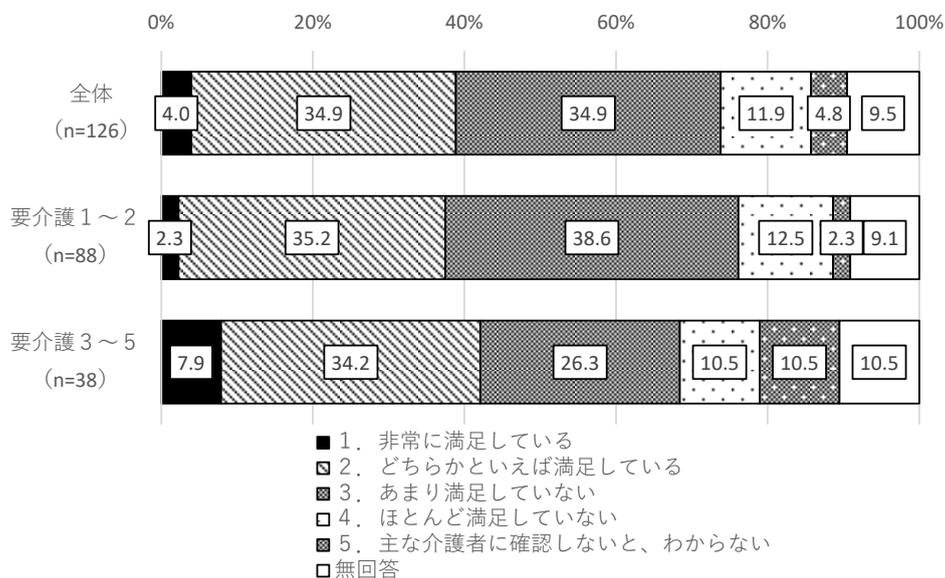
問11-2 主な介護者の方は、介護のためにあて名のご本人の家にどのくらいの頻度で通われていますか（SA）n=34 ※問11で「2. 別居」と回答した方

「週に1日以上通っている」（週1～2日+3～4日、ほぼ毎日）は79.3%となっています。



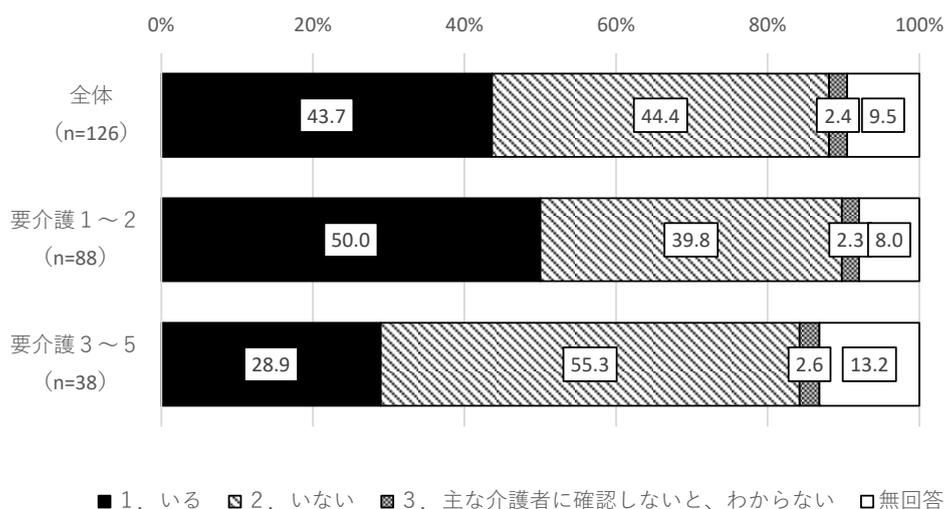
問12 主な介護者の方は、現在の生活に満足されていますか（SA）n=126

「満足している」（非常に満足+どちらかといえば満足）は38.9%となっています。



問13 家族のなかで、主な介護者の方以外に一緒に介護をする人はいますか（SA）n=126

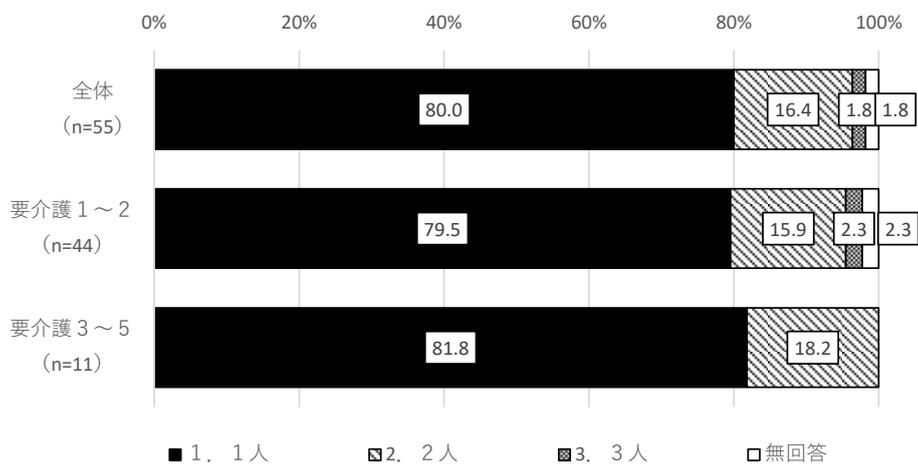
「いる」は43.7%となっています。



問13-1 主な介護者以外に一緒に介護をする人の人数（S A）n=55

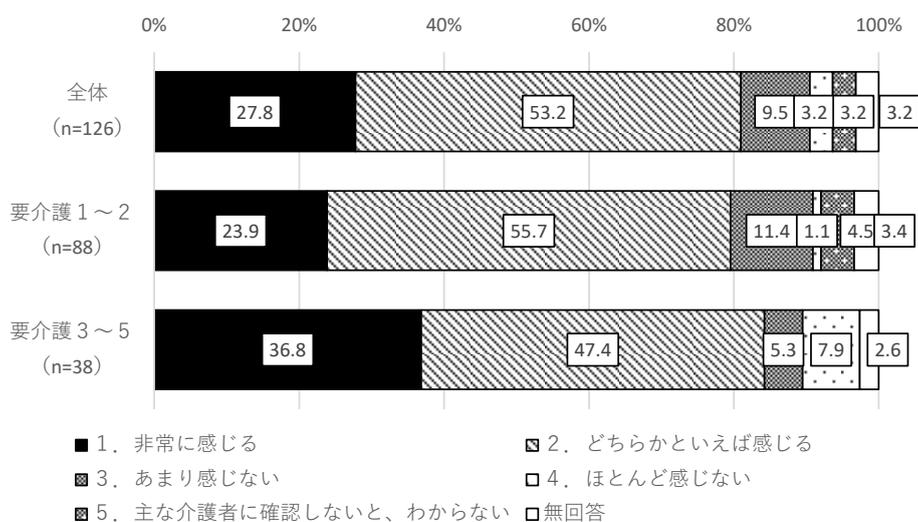
※問13で「1. いる」と回答した方

最も割合が高いのは「1人」（80.0%）、次いで「2人」（16.4%）、「3人」（1.8%）と続きます。



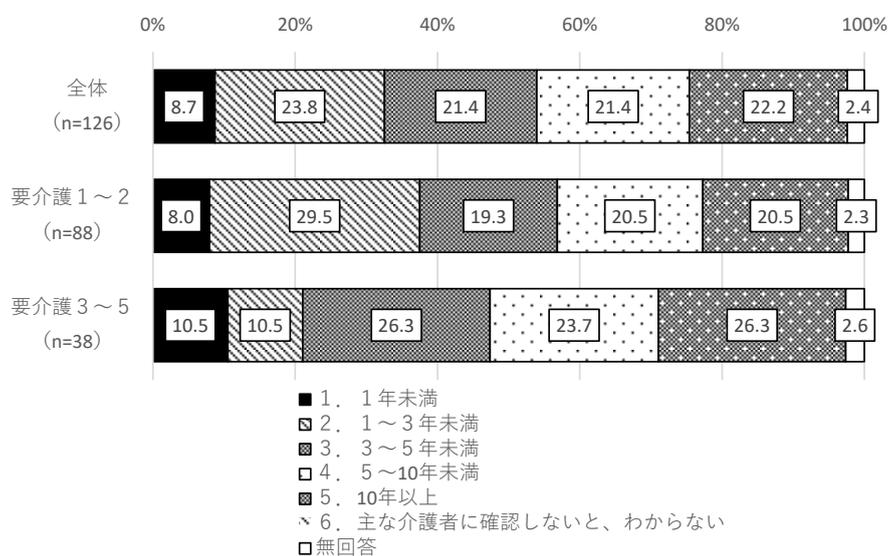
問14 主な介護者の方は、介護による負担を感じていますか（S A）n=126

「感じている」（非常に+どちらかといえば）は81.0%となっています。要介護度別にみると、要介護3~5のほうが要介護1~2よりも、負担を感じている割合が高くなっています。



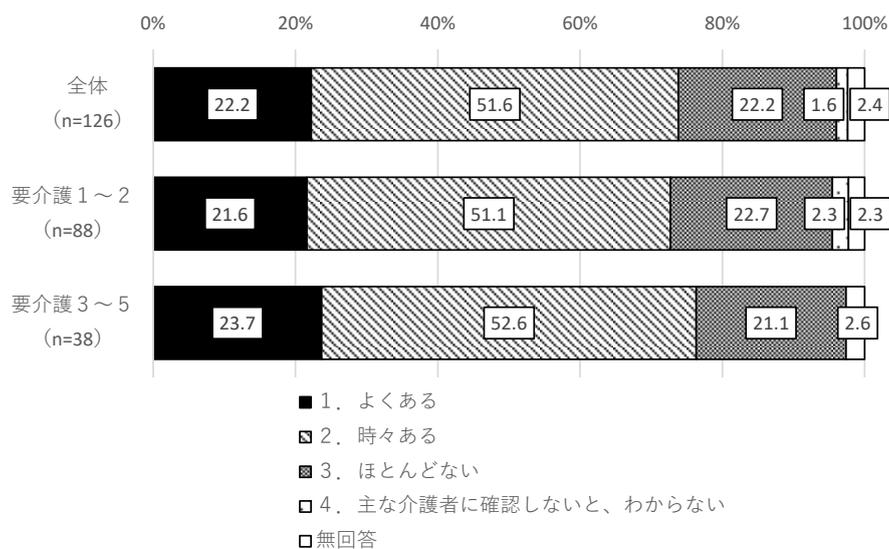
問15 主な介護者の方が、今までに介護をされている期間はどのくらいですか（SA）n=126

最も割合が高いのは「1～3年未満」（23.8%）、次いで「10年以上」（22.2%）、「3～5年未満」「5～10年未満」（共に21.4%）と続きます。



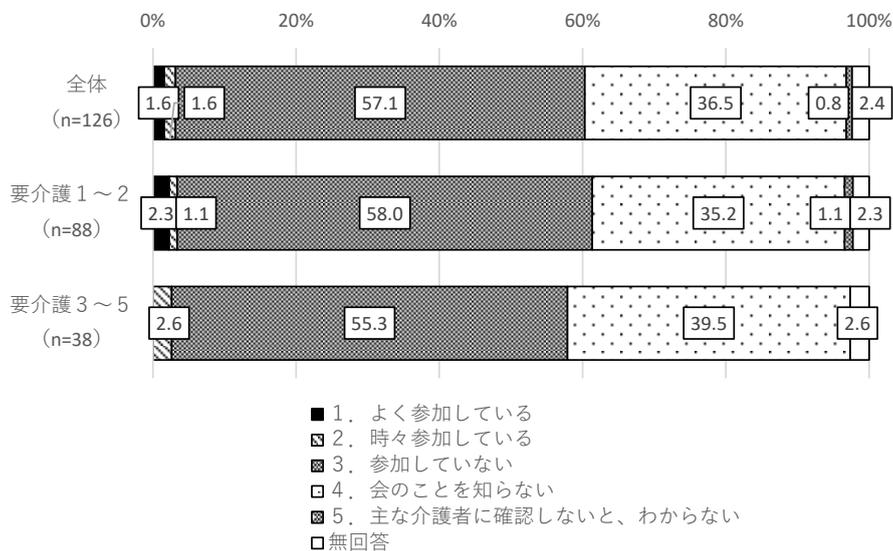
問16 主な介護者の方は、この1年以内に心身の不調を感じたことがありますか（SA）n=126

「ある」（よく+時々）は73.8%となっています。



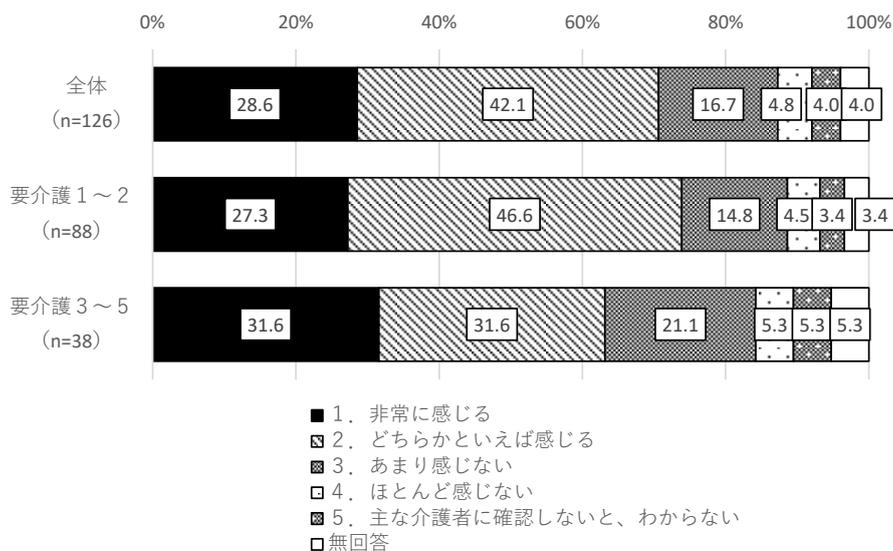
問17 主な介護者の方は、岬町介護者（家族）の会「ほほえみ」に参加されていますか（S A） n=126

「参加している」（よく+時々）は3.2%となっています。



問18 主な介護者の方は、将来的に自宅以外での介護の必要性を感じていますか（S A） n=126

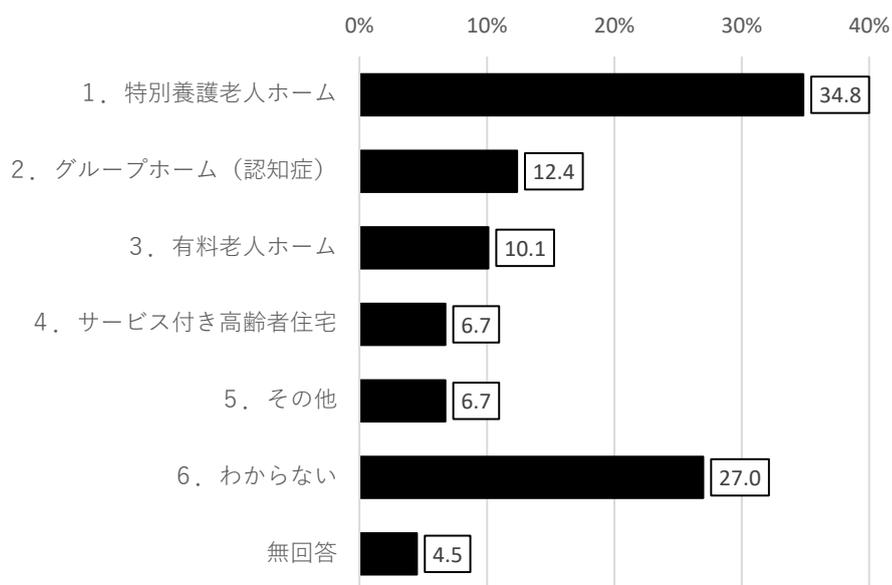
「感じている」（非常に+どちらかといえば）は70.7%となっています。



問19 それはどのような施設ですか（SA）n=89

※問18で「1. 感じている」「2. どちらかといえば感じる」と回答した方

「わからない」を除いて、最も割合が高いのは「特別養護老人ホーム」（34.8%）、次いで「グループホーム（認知症）」（12.4%）、「有料老人ホーム」（10.1%）と続きます。



自由記述

問20 主な介護者の方が、生活、仕事、日中活動等で困ったことや気づいたことなどがありましたら、ご記入ください（主な回答を要約）

1. サポート・サービスへの感謝と要望

- ・ 包括支援センターとケアマネージャーが非常に助けとなっている。
- ・ デイサービスが休日も利用できるとありがたい。
- ・ 訪問診療や訪問看護、訪問入浴、訪問リハビリのサービスが非常に助かっている。
- ・ ヘルパーやデイサービスのスタッフが親身にサポートしてくれることに感謝。
- ・ ショートステイを利用したいが、その準備が大変。
- ・ 高齢者家族の会で悩みを共有でき、前向きに介護ができています。
- ・ 訪問サービスなどがとても助かっているが、希望する時間や曜日に合わせてもらえないと困る。

2. 高齢・健康に関する不安

- ・ 包括支援センターとケアマネージャーが非常に助けとなっている。
- ・ 自分も高齢で、どれだけ介護が続けられるか不安。
- ・ 健康な状態で長生きはできるが、歩けないと充実感が少ない。
- ・ 高齢者本人も、いつどうなるかわからないと感じている。
- ・ 介護者自身が高齢で、将来的にどれだけ介護ができるか不安。
- ・ 介護者自身が持病を抱え、日常生活にも支障をきたしている。
- ・ いつ何時介護が出来なくなるか不安。
- ・ 自分の通院も必要で、運転免許を返納できず困っている。
- ・ 体力が衰えてきているが、家族のために頑張っている。

3. 日常生活の困難・挑戦

- ・ 買い物や手続きの時間が限られ、常に時間に追われている。
- ・ 身内以外の人への拒否反応が強くなっている。
- ・ 被介護者が徘徊することがあり、心配している。
- ・ 食事の準備や着替えのサポートが必要。
- ・ 日中の被介護者の管理やお風呂、食事の準備が大変。
- ・ 病院や施設の利用が難しい。
- ・ 言語リハビリが通院でできる施設がない。
- ・ オムツ交換や排泄管理が大変。

4. 経済的な課題と心配

- ・光熱費の節約や生活費の問題で、介護サービスの利用が制限されている。
- ・経済的に厳しく、安い商品やサービスを選ばざるを得ない。
- ・インフラやサービスの利用にコストがかかり、経済的な負担を感じている。
- ・家計が厳しく、できるだけ自分で介護作業を行うようにしている。
- ・年金の範囲内で生活していくことが難しいと感じている。
- ・被介護者と自分の両方の経済的な支出を管理しなければならないと感じている。
- ・生活費や光熱費の節約が必要で、それが日々の生活や介護に影響している。
- ・生活費や介護にかかる費用の心配が絶えない。

5. その他の要望や感想

- ・通信や書類がわかりにくく、もっとわかりやすくしてほしいと感じている。
- ・医療や介護の進歩を願っている。
- ・施設やサービスへの拒否感を感じている被介護者がいる。
- ・被介護者が施設やサービス利用を拒否していることが困難を増している。
- ・家事のサポートやその他の支援がもっと必要と感じている。
- ・書類や手続き、通信方法に関する要望や困難がある。
- ・介護の情報共有やコミュニケーションが改善されることを望んでいる。
- ・特別な要望はないが、既存のサービスやサポートに感謝している。

岬町
在宅介護実態調査 結果報告書

令和5年10月発行

発行・編集 岬町 しあわせ創造部 高齢福祉課

住 所 〒599-0392
大阪府泉南郡岬町深日 2000-1
電 話 072-492-2703
F A X 072-492-5814
E メール koureifukushi@town.osaka-misaki.lg.jp